

第8回国語分科会漢字小委員会・議事録

平成26年5月23日（金）
11時45分～12時15分
旧文部省庁舎 第1会議室

〔出席者〕

（委員）沖森主査，笹原副主査，秋山，入部，岩澤，影山，鈴木（一），
鈴木（泰），関根，田中，棚橋，出久根，納屋，やすみ各委員（計14名）
（文部科学省・文化庁）岩佐国語課長，鈴木国語調査官，武田国語調査官，
小沢専門職ほか関係官

〔配布資料〕

- 1 小委員会の設置について
- 2 文化審議会国語分科会漢字小委員会委員名簿
- 3 文化審議会国語分科会漢字小委員会の会議の公開について（案）
- 4 漢字小委員会における審議スケジュール（案）

〔参考資料〕

- 1 文化審議会国語分科会運営規則
- 2 文化審議会国語分科会の会議の公開について

〔机上配布資料〕

- 「国語分科会で今後取り組むべき課題について（報告）」（平成25年2月18日，文化審議会国語分科会）
- 「改定常用漢字表」（平成22年6月7日，文化審議会答申）

〔経過概要〕

- 1 事務局から配布資料の確認が行われた。
- 2 文化審議会国語分科会運営規則に基づき，委員の互選により，沖森委員が漢字小委員会主査に選出された。
- 3 文化審議会国語分科会運営規則に基づき，沖森主査により，笹原委員が副主査に指名された。
- 4 事務局から配布資料3「文化審議会国語分科会漢字小委員会の会議の公開について（案）」の説明があり，漢字小委員会の会議を公開することが了承された。
- 5 事務局から配布資料4及び机上資料の「国語分科会で今後取り組むべき課題について（報告）」（文化審議会国語分科会，平成25年2月18日）の説明があり，その後，質疑応答が行われ，今後の議論の対象や進め方等について，次回も引き続き検討し，日程もそれに合わせ調整することとされた。
- 6 次回の漢字小委員会について，平成26年6月20日（金）午前10時から12時まで開催すること，また，会場については，決まり次第事務局から連絡することが確認された。
- 7 「文化芸術の振興のための基本的施策の在り方について—文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次）の策定に向けて—」（平成26年3月28日諮問）について，盛り込むべきアイデアがあれば事務局まで提出することとされた。
- 8 質疑応答及び意見交換における各委員の発言等は次のとおりである。

○沖森主査

このたび大役を仰せつかりまして、改めて身の引き締まる思いであります。私、昨年度は副主査でありましたけれども、見習いのような副主査でありました。今年度は、主査を務めさせていただきますけれども、皆様のお力添えを是非ともお願いいたしたいと思ひます。

最近、活字離れと言われてひます。私、今朝も電車で来ましたが、電車の中で、皆さんスマートフォンばかり見てひます。活字を離れてひるとひいうのではなくて、ただ媒体としての本から離れてひるだけで、漢字に対する必要性とひいひますか、それは以前にも増してひるのではないかとひいてひいます。

今後とも皆様のお力添えを頂きまして、この漢字小委員会では私ができるだけ力を尽くしてひきたいと思ひますので、よろしくひお願い申し上げたいと思ひます。

○笹原副主査

早稲田大学の笹原と申ひます。私も沖森主査と同様に、常用漢字を策定する途中段階からこちらの小委員会に携わってひいます。前回も、「異字同訓」を手当てについて考えるということに関わってひいました。

漢字を研究してひいますけれども、漢字に関する現実を政策に反映させるということでは、本当に難問が多く、この先もいろいろと大変なことが多ひと存じひます。大役の御指名を賜りまして、少しでも審議の面でお役に立てますよう努めてまひりたく存じひます。皆様、どうぞよろしくひお願い申し上げます。

○沖森主査

それでは、配布資料3「文化審議会国語分科会漢字小委員会の会議の公開について（案）」の説明を事務局にひお願いしたいと思ひます。

事務局（鈴木国語調査官）から配布資料3について説明

○沖森主査

ただ今の事務局からの御説明について、何か御質問等はあるひでしょうか。
（→ 挙手なし。）

特に御異議がなければ、「文化審議会国語分科会漢字小委員会の会議の公開について（案）」は、御承認いただいたということにさせていただきます。（→ 了承。）

それでは、これ以降の議事については公開することにいたします。なお、本日は、報道機関より写真撮影の希望がありましたので、あらかじめ御承知おきください。

（傍聴者・報道関係者入室）

○沖森主査

それでは、配布資料4「文化審議会国語分科会漢字小委員会における審議スケジュール（案）」と、今期の審議事項についての説明を事務局にひお願いいたします。

事務局（鈴木国語調査官）から配布資料4、及び「国語分科会では取り組むべき課題について（報告）」に基づく今期の審議事項について説明

○沖森主査

ただ今の御説明に対して、何か御質問等がございますでしょうか。スケジュール案と、今期の審議事項についてであります。いかがでしょうか。

○鈴木（泰）委員

どれくらい掛かると考えていらっしゃるか、ちょっと分からなかったのでお尋ねします。最初、「2 常用漢字表の手当てについて」の検討が終わったら、ほかの四つの項目についてもとおっしゃったのですが、今、最後には、来期まで「2 常用漢字表の手当てについて」が掛かるのではないかと、ともおっしゃったように聞こえたのですが、どちらなのでしょう。

○鈴木国語調査官

「2 常用漢字表の手当てについて」は、(2) (3) (4) と三つの課題が残っており、そのうち特に「(3) 「手書き文字の字形」と「印刷文字の字形」に関する指針の作成について」の課題に関しては、個々の漢字の字形の問題になってくるかと思っておりますので、恐らく細かい作業が、「異字同訓」の議論の時のようにまた必要になってくるだろうと予想しております。そうすると、例えば作業部会のようなところで個々の漢字について調べて検討した上で、小委員会に返して審議していただくというような進め方になるかと思っております。そうすると、この「2 常用漢字表の手当てについて」は、恐らく1年で全部終わらせるのは厳しいと思っておりますので、大体2年間ぐらいが想定されるのではないかと申し上げました。

○鈴木（泰）委員

では、「2 常用漢字表の手当てについて」の後に「1 「公用文作成の要領」の見直しについて」とか、「3 言葉遣いについて」というのは、今期は扱えないであろうということですね。

○鈴木国語調査官

恐らく、そうであろうということでございます。

○鈴木（泰）委員

どれが1, 2, 3で、どれが(1), (2), (3)なのか、よく分からなかったのです。でも、この「2 常用漢字表の手当てについて」でも、「(2) 「同音の漢字の書きかえ」の見直しについて」などというのは、新しく入れられた漢字が書き換えられているのを元へ戻せばいいわけでしょうから、1回でできるのではないかと思います。

○鈴木国語調査官

はい、そういう可能性はあります。

○鈴木（泰）委員

「(3) 「手書き文字の字形」と「印刷文字の字形」に関する指針の作成について」というのはどうも何か、私などはちょっと手に余るという感じもします。書体とか、字体とか、一種、字のデザインに関するような話です。何か、日本語の専門といっても、そういう分野では余り扱わない分野のような気がします。だから、それを本気でここでやろうとしたら、大変なことになるのではないかという気がします。入試問題の採点でもあつた、こうだつて、大変な場面があります。だから、とても自信がない

ので、字体のところ、字形というか書体というか、どのようなやり方でやるのか、少しイメージがつかめない感じです。

○岩佐国語課長

先ほど鈴木国語調査官から次回の日程を示しましたが、その次以降は仮置きです。次回、こういった方向で議論するかについてお示ししたいと思います。ワーキング・グループという形で、より専門的な方を加えての議論になることも含めて考えようと思います。先ほどの国語分科会での議論もありましたので、漢字小委員会での議論の土俵の設定の仕方、進め方についてまとめて、次回、御相談したいと思います。

○沖森主査

ほかに御質問等、ございますでしょうか。（→ 挙手なし。）

本日は最初の小委員会でありまして、もう既に予定の時間が過ぎております。「2常用漢字表の手当てについて」で残っている（2）、（3）、（4）の課題について、どれをどういうふうに取り上げるかということにつきましては、先ほど岩佐国語課長から次回の小委員会で御提案があるということでございましたので、次回の漢字小委員会でまた議論していきたいと思います。よろしいでしょうか、それでよろしいですね。

では、今後、そのように進めていきたいと思います。どうもありがとうございました。本日、議事はこれで終了させていただきたいと思います。最後に、事務局から何か連絡事項があれば、お願いいたします。

○鈴木国語調査官

2点ございます。1点目は、先ほど申し上げましたとおり、次回の漢字小委員会は6月20日金曜日の午前中、10時から12時の予定でございます。会場はまだ決まっておりませんので、決まり次第、お知らせいたしますので、御出席の程よろしく願いいたします。

2点目は、先ほどの国語分科会におきまして、長官、国語課長から御説明申し上げた、「文化芸術の振興のための基本的施策の在り方について―「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次）の策定に向けて―」という文化審議会に対する諮問についてでございます。これに関して、今現在、第3次のものにも国語に関しては幾つかの項目が記載されております。そうしたものを参考にさせていただいた上で、これを盛り込んだらいいのではないかというアイデアがもしもございましたら、事務局まで、メールでもファクスでも結構でございますので、お知らせいただければと思います。

○沖森主査

それでは、これで今期第1回の漢字小委員会を終了いたします。御出席どうもありがとうございました。